

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成28年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	20分	呉屋 宏(無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 農業政策について (1) 農業大学の改築場所は決定したか。</p> <p>2 児童福祉について (1) 待機児童の解消は目標とした平成30年4月までに達成できるか。 (2) 子供の貧困対策を伺う。</p> <p>3 過疎化対策について (1) 過疎化対策の中心は何か。</p> <p>4 振興策について (1) 沖縄21世紀ビジョンの中間評価を伺う。</p> <p>5 教育行政について (1) 奨学金の新制度を伺う。</p>			

一般質問通告表

平成28年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	20分	新垣 安弘(無所属)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 安全保障と基地問題について</p> <p>(1) 横田基地の自衛隊との共同使用について伺う。</p> <p>(2) 那覇空港の自衛隊機の増加による影響と自衛隊機の嘉手納基地への一部移駐の可能性や共同使用について伺う。</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 汗水節の生まれた経緯について伺う。</p> <p>(2) 学校でのしまくとぅばの指導について伺う。</p> <p>(3) 向陽高校の中高一貫校への取り組みについて伺う。</p> <p>(4) 県内における退職教員の地域における学習支援について伺う。</p> <p>(5) 「進学力グレードアップ事業」第1回参加者の志望校の傾向を伺う。</p> <p>3 公共交通政策について</p> <p>(1) 鉄軌道導入についての議論の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 鉄軌道で那覇・名護間を1時間以内とすることと、時間にこだわらずLRT(次世代型路面電車)の採用を求める意見についての見解を伺う。</p> <p>(3) 東浜への大型MICE施設建設への対応として、那覇・与那原間のLRT導入は早期に検討し取り組むべきではないか。</p> <p>4 子供の貧困対策について</p> <p>(1) 本県の子供の貧困率が高い主な原因は何か。</p> <p>(2) 本県の離婚率についての見解を伺う。</p> <p>(3) 本県の10代の婚姻率と出生数、出産割合と、それについての見解を伺う。</p> <p>5 農業振興について</p> <p>(1) ANA沖縄貨物ハブを利用する本県の農作物の移出、輸出の状況を伺う。</p> <p>(2) 農地中間管理機構における農地の集約状況について伺う。</p> <p>(3) 含蜜糖の生産状況と出荷状況について伺う。</p>			

一般質問通告表

平成28年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	20分	新垣 清涼(県民ネット)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 教育行政について

- (1) 本県の不登校児童生徒の実態とその対策について伺います。
- (2) 本県高等学校中途退学者の実態とその対策について伺います。
- (3) スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置状況について伺います。
- (4) 沖縄県立離島児童生徒支援センター(群星)の運用体制と今後の課題について伺います。
- (5) 誇り高さウチナー文化の普及促進について
「しまくとぅば」推進計画による市町村と学校の取り組みを伺います。

2 健康福祉社会の実現について

- (1) 2040年までに平均寿命日本一を取り戻すため、県の年次の取り組みと県民運動の普及について伺います。
- (2) 子育て支援として、安心して妊娠、出産し、子供を健やかに育てることができるような制度、体制の充実について伺います。
- (3) 低体重児の出生率の改善に向けた取り組みを伺います。

3 基地問題について

- (1) キャンプ瑞慶覧返還用地の跡地利用について
ア 支障除去についてどのような計画で進められているか伺います。
イ アスベストの除去についてはどのような計画になっているか伺います。
ウ 地域住民への説明会の取り組みについて伺います。
エ 支障除去について今後懸念されることはないか伺います。(アスベストの性質や作業の取り組み等)
オ 国道58号へのアクセス道路の整備計画について伺います。
- (2) 沖縄市のサッカー場についてこれまでの経緯とその対策について伺います。
- (3) 北谷町(上勢頭地区)の埋設廃棄物に係る環境問題について経緯と対策を伺います。
- (4) キャンプ・キンザーに関する米軍文書による環境問題について県の取り組みを伺います。
- (5) 返還軍用地の土地利用履歴の開示とその対策について
米軍基地として長年使用された土地については、その使用履歴を政府は責任を持って明らかにすべきと思います。そして、問題があれば政府の責任において問題を除去することが当然と考えます。その制度について伺います。

4 環境行政について

- (1) 県・市町村の一般廃棄物のリサイクル率と県内の現状、全国平均、沖縄県の位置(順位)、目標や対策について伺います。
- (2) 県内市町村の家庭廃食用油(てんぷら油)の分別回収の取り組み状況とその対策について県の取り組みを伺います。
- (3) 犬・猫殺処分ゼロを目指す取り組みについて
県は、犬・猫殺処分ゼロを目標にした沖縄県動物愛護管理推進計画を策定されました。近年殺処分数が大幅に減少しているようですが、殺処分ゼロの目標年度と今後の取り組みを伺います。

5 交通安全対策について

児童生徒の朝の登校時に横断歩道のある場所、ない場所での地域住民による横断指導について伺います。

6 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成28年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	20分	比嘉 瑞己(共産党)	知事 関係部長等

質問要旨

- 知事の政治姿勢について
(1) 代執行訴訟第4回口頭弁論における翁長知事の尋問について
- 国民健康保険財政について
(1) 2014年度市町村国保の財政赤字と一般会計からの法定外繰り入れについて現状を問う。
(2) 地上戦の影響で前期高齢者加入率が低いことによる交付金不足額と、国からの支援額は幾らか。戦争を起こした国の責任で財政支援を行うべきである。
- 介護保険制度について
(1) 安倍政権による介護報酬の大幅削減の影響で、介護職員の労働条件が悪化している。沖縄県の介護職員の離職率や労働実態について、全国との比較を問う。
(2) 「沖縄県高齢者保健福祉計画」では、団塊世代が75歳以上となる2025年には約2万4000人の介護職員が必要になると推計されている。介護人材確保対策について問う。
- 保育行政について
(1) 深刻な待機児童問題を解決することは急務である。また同時に「保育の質」を確保することも重要である。新年度予算における主要事業の概要を問う。
(2) 「沖縄県待機児童解消支援交付金」が市町村の待機児童対策で果たしてきた役割は大きい。新年度以降も同補助率の継続が必要である。見解を問う。
(3) 県有地や県施設への無償貸与によって、市町村や社会福祉法人等の保育所設置を積極的に進めるべきである。
(4) 待機児童解消のために必要な保育士は何人か。保育士確保のための待遇改善策として、①賃金の引き上げ、②正規雇用促進、③保育士住居支援制度が必要である。
- 子供の貧困について
(1) 就学援助制度の拡充について
(2) 学童保育の保育料支援について
(3) 児童館に求められている役割について
(4) 夜間保育に対応している認可外保育園への支援を強化するとともに、公立・認可の夜間保育園をふやすべきである。
(5) 奨学金制度の充実について
(6) 「子供の貧困」の背景には、保護者を取り巻く経済状況・雇用状況の悪化がある。労働環境改善のための支援について
- 那覇市への特別支援学校開校に向けて
障害のある子が、地域社会で積極的に活動し、その一員として豊かに生きることができる「共生社会」の実現のためにも期待されている。那覇特別支援学校が果たすべき役割について問う。
- 離島振興について
(1) 県民による離島観光や島の人々との交流は、沖縄振興においても重要である。「島たび助成事業」に期待される効果は何か。事業概要と目標について問う。
(2) 久米島—那覇間を結ぶフェリー船が老朽化している。久米島の観光振興や定住条件の整備として、高速旅客船の導入を支援すべきである。
(3) 沖縄県海洋深層水研究所の研究開発成果は、久米島町を初め沖縄県の産業振興や雇用創出にどのような効果をもたらしたか。久米島町が目指す「海洋深層水複合利用計画」

を県としても積極的に支援すべきである。

- (4) 離島11町村で公立図書館が未設置となっている。離島を多く抱える沖縄の特殊事情に鑑み、一括交付金を活用した公立図書館建設を推進すべきである。

8 観光振興について

那覇市で長年開催されている、与儀公園の「なはさくらまつり」や、漫湖公園の「那覇美らさくらまつり」は、県民を初め観光客も大勢訪れる新たな「桜の名所」となっている。冬でも花が咲き誇る沖縄の魅力を発信している「沖縄花のカーニバル」の開催場所として、沖縄県も支援すべきである。

9 公共交通について

- (1) 通称「開南仏壇通り」と呼ばれる県道222号線の道路拡幅によって、那覇市中心街と真和志地域を結ぶ「モデル性の高い基幹的公共交通」の導入が期待されている。計画の概要を問う。

- (2) IC乗車券「OKICA」導入後の効果について

10 原発事故による避難者支援について

東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から5年が経過した。沖縄に避難してきた人々は今も放射能汚染による健康被害を心配している。沖縄県として避難者に寄り添った健康支援対策を行うべきである。

11 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	20分	照屋 大河(社民・護憲)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 政府・沖縄県協議会について

- ア 去る1月28日、国と県が辺野古新基地問題や在沖米軍基地の負担軽減策などを中心に話し合う「政府・沖縄県協議会」が立ち上がった。3月から4月の間に開催することで調整中とされ、次回以降から具体的な議論に入るとのことだが、開催のめどは立ったか。調整状況について伺う。
- イ 去る2月18日で普天間基地の「5年以内運用停止」の起点日から2年が経過した。残された期限は3年である。「米国など相手のある話」として逃げ腰の政府にくぎを刺す意味でもカウントダウン方式を採用し、県の立場を明確にしておく必要があると考える。政府・沖縄県協議会の第2回会合では普天間基地の「3年以内運用停止」であることを政府との間で確認した上で、その実現を求めていくべきではないか。
- ウ 辺野古新基地をめぐる代執行訴訟の第4回口頭弁論(2月15日)後の記者会見で、知事は、仮に県が敗訴した場合、「行政の立場として判決に従う」との考えを示す一方、「私が(公約に掲げる)ありとあらゆる手段を講じて辺野古新基地は造らせないというのは別な形であると思う」とも述べている。「別な形」とは、知事の見解について伺う。

(2) 辺野古新基地建設に対する県外の動き、認識等について

- ア 共同通信社が1月30、31日の両日に実施した全国電話世論調査によると、辺野古新基地建設を強行する政府方針を「支持する」が47.8%、「支持しない」が43.0%で支持が不支持を上回り、それまでの傾向と逆転した。「支持」、「不支持」逆転の理由について、知事の分析と見解を伺う。
- イ 名護市の一部野党市議11人が、辺野古新基地建設推進を政府に求める意見書を採択するよう全国約800の市区議会に求め、少なくとも16都県の19市区議会がこの趣旨に沿った意見書を可決していたことが、参議院事務局の集計で明らかになった。稲嶺名護市長初め名護市議会が辺野古反対の姿勢を明確にしている中、識者からは「国策とはいえ他の地方自治体の意思を侵すような意見書は出さないのが常識だ」、「差別意識を感じる」との声が上がっているが、知事の受けとめを伺う。

2 基地問題について

(1) 嘉手納基地からの悪臭被害について

県は嘉手納町を悪臭防止法に基づく規制地域に指定する方針を固めたようだ。その意図と期待される効果、指定時期のめどについて伺う。

(2) 嘉手納基地における発がん性物質流出事故について

昨年5月、酒に酔った米海兵隊員の悪ふざけで、嘉手納基地内の航空機格納庫から発がん性物質の消火剤が基地外の民間地にまで流出したことが今年2月の報道で明らかになった。報道によると、当該物質は「日本環境管理基準(JEGS)」の有毒化学物質には含まれず、米側は地元に通報しなかったようだ。県として事実関係を掌握していたか。再発防止策とあわせて伺う。

(3) 高江米軍ヘリパッド着陸帯運用に対する県の環境保全措置要求について

米軍北部訓練場内のヘリパッド運用開始後の昨年12月11日付で、翁長知事が沖縄防衛局長に対し、8項目22件の環境保全措置要求を発出した。

ア 要求の主たる内容と沖縄防衛局の対応(改善状況)について伺う。

(4) 県が民間と共同で名護市安和に整備中の産業廃棄物管理型処分場で、飛散性アスベストを含む廃石綿の最終処分を早ければ2019年にも受け入れる、との報道があるが、事実関係を伺う。その場合、在沖米軍基地で排出された飛散性廃石綿も処理されることになる

のか。

3 子供の貧困について

- (1) 県内で深刻化する子供の貧困に対応するため、県及び国は次年度にそれぞれ30億円及び10億円規模の基金創設の方針を明らかにしている。実施に当たっては重複を避け、効果的かつ効率的な事業運営が求められるが、事業のすみ分けなど調整状況を伺う。
- (2) 国が進める「地方創生戦略」は一言で言えば人口増加計画である。国の方針に合わせ、県も昨年9月に「沖縄県人口増加計画(沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略)～沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり～」を策定しているが、人口増加計画を力強く進めるためには、子を産むだけでなく、育てるための受け皿整備が不可欠である。その観点で、同計画に目を通す限り、待機児童対策などと比べて「子供の貧困」対策の位置づけが弱くないか。より充実させるべく、見直しが必要だと考えるが、県の見解を伺う。
- (3) 知事は待機児童解消に向けた取り組みについて「黄金っ子応援プラン」等を踏まえ、推進すると所信で表明した。

ア 直近の待機児童の実態と実数について伺う。

イ 市町村が実施する保育所整備や認可外保育施設の認可化などへの支援状況等について伺う。

4 教育行政について

「11・28教育の危機を考えるシンポジウム」参加者一同から県教育委員会・教育長宛てに、「過剰な『学力向上推進』の改善を求め、教職員を競争に駆り立てる『査定昇給制度』の導入による管理強化に反対する」要請がなされている。要請内容の柱は、①点数主義に基づく過剰な「学力向上推進施策」の見直し、②教職員の管理強化につながる「査定昇給制度」導入反対と職場・勤務環境の改善、③自由闊達な議論が保障される民主的な学校運営・平和教育の推進などである。

- (1) 要請に対する県教育委員会の受けとめと対応を伺う。
- (2) 要請の背景には、改正地方教育行政法が施行され、教育行政に対する首長の権限が強められかねないことに対する危機感がある。県は教育行政における政治的中立性、安定性、継続性をいかにして確保していくつもりか、見解を伺う。

5 社会資本・産業基盤の整備について

- (1) 知事は所信表明において、中城湾港について航路の拡充等や産業支援港湾としての整備を着実に進めるとともに、クルーズ船の受け入れについても積極的に取り組むとあるが、地元自治体との連携状況について伺う。
- (2) 与勝半島一周線・南岸道路(仮称)の事業化に向けた取り組みの進捗状況について伺う。

6 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成28年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	20分	比嘉 京子(社大党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 保健医療行政について

健康長寿は、全ての県民の願いです。かつて本県は平均寿命日本一であったが、平成25年発表によると男性30位、女性3位である。こうした状況を踏まえ、沖縄21世紀ビジョン基本計画では「2040年に男女とも平均寿命日本一」を長期目標とする「健康おきなわ21(第2次)～健康・長寿おきなわ復活プラン～」を策定し推進している。

以下、県民の健康状況と課題、健康長寿復活に向けた取り組みについて問う。

(1) 県民の健康状況について

ア 平均寿命の順位が転落した要因は何か、また20歳から64歳までの働き盛りの年代の主要死因は何か。

イ NCD(非感染性疾患)による死因の割合は幾らか。

ウ メタボリックシンドローム該当者及びその予備軍の割合はどうか。

エ 糖尿病性腎症による新規透析導入者の状況はどうか。(全国と比較して)

(2) 健康づくりについて

ア 健康づくりを推進するための基本方針について伺う。

イ 先進地である長野県の取り組みをどう認識しているか。

ウ 生活習慣病にならない人づくり、生活習慣病の早期発見、重症化予防のための具体的な施策を伺う。

エ 食生活の面から各ライフステージ(次世代、働き盛り世代、高齢者)ごとの健康づくりの施策を伺う。

2 子供福祉行政について

本県は、今後3年間で待機児童1万8000人の解消を目指している。そのため保育士2300人が必要であると試算している。待機児童解消のためには保育士確保が鍵である。

(1) 保育士確保について

ア 保育士の資格を有しながら保育に携わっていない、いわゆる潜在保育士の数はどれくらいか。

イ 保育士の処遇改善が叫ばれて久しいが、本県が処遇改善のために自主財源から拠出した金額は幾らか、その効果はどうか。

ウ 国の運営費の低さに根本的な原因があると考えがどうか。また運営費における人権費の算定根拠はどうか。

3 農林水産行政について

さきの議会において本県のカロリーベースによる食料自給率は27%で、サトウキビを除くと6%であることがわかった。改善に向け、以下質問する。

(1) 食料自給率について

ア 過去10年間で食料自給率はどのように推移してきたか、また今後の目標はどうか。

イ 自給率を高めるためには、どのような課題があるか。

ウ カロリーベース以外に、本県独自に品目別自給率目標を立て、品目ごとに生産アップを目指すことは可能か。

一般質問通告表

平成28年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	20分	具志堅 徹(無所属)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 基地問題について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 米軍キャンプ・シュワブ内の海岸で見つかった埋蔵文化財の保護について(2) 東村高江ヘリパッド建設問題について(3) 米軍基地周辺地域における射撃訓練や廃弾処理の騒音被害について(4) 伊江島での基地強化と民間港を使った軍事演習について <p>2 環境行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 「公有水面埋立事業における埋立用材に係る外来生物の侵入防止に関する条例」に対応する新年度事業について(2) 辺野古・大浦湾への埋立土砂について、採取地となる自治体及び環境団体への協力要請について <p>3 教育行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 北部地域の県立高校の存続・充実について(2) 名護市立博物館建設への県の支援について(3) 老朽化している県立農業大学校の改築について <p>4 県立北部病院について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 県立北部病院の役割について(2) NICU(新生児集中治療管理室)新設について(3) 7対1看護の導入について			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成28年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	20分	赤嶺 昇(県民ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 辺野古新基地建設問題の現状と対策を伺う。(2) 普天間基地の5年以内の返還について取り組みを伺う。(3) 沖縄本島と宮古、八重山のガソリンの価格格差の取り組み状況を伺う。(4) 子供の貧困解消に向けた知事の決意を伺う。(5) 重粒子線施設の採算性について知事の見解を伺う。(6) 那覇軍港の浦添移設について知事の見解を伺う。 <p>2 教育行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 病休教員の実態と対策を伺う。(2) 幼・小・中学校のクーラーの設置状況と対策を伺う。 <p>3 土木建築行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 入札不調、不落への対応を伺う。(2) 最低制限価格の上限撤廃の実施について伺う。(3) 総合評価の見直しについて取り組みを伺う。(4) より多くの企業が参入できる取り組みを伺う。 <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p>			